

## 2017年度第1四半期 決算説明会資料

財務責任者  
見浪 直博

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、財務諸表の数値と異なる場合があります。  
※各用語の定義については、スライド3に明記しております。

### 将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予期しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化及び需要の減少
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動
- (10) 自然災害及び不測の事態等

## <用語の定義>

調整後営業利益：	調整後営業利益 = 営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目（収益及び費用）* *調整項目（収益及び費用）= のれんの減損損失 ± リストラチャリング収益及び費用等
四半期利益：	親会社の所有者に帰属する四半期利益
総販売数量： （海外たばこ事業）	水たばこ/Emerging Products/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus込み
自社たばこ製品売上収益： （海外たばこ事業）	物流事業、製造受託等を除き、水たばこ、Emerging Productsの売上込み
紙巻総需要 （国内たばこ事業）	日本市場全体における紙巻たばこの販売本数（Emerging Products等は除く）
紙巻販売数量： （国内たばこ事業）	国内免税販売/中国事業/Emerging Productsを含まない
自社たばこ製品売上収益： （国内たばこ事業）	輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/Ploom TECHのデバイス・カプセルを含むEmerging Productsの売上込み

**（このスライドは空白です）**

## 全社実績 2017年1-3月

### 全社実績

### 想定通りの実績、年度見込達成に向けて順調に進捗

	2017年 1-3月		2017年度見込	
		対前年同期 増減率		対前年 増減率
(億円)				
<b>為替一定ベース</b>				
調整後営業利益	1,593	-3.1%	6,070	+3.4%
<b>財務報告ベース</b>				
売上収益	5,061	-5.2%	21,100	-1.6%
調整後営業利益	1,503	-8.6%	5,870	+0.0%
営業利益	1,490	-26.9%	5,600	-5.6%
四半期利益	1,055	-27.5%	4,020	-4.7%

#### 前年同期における特殊要因

- 国内たばこ  
MEVIUS定価改定前の仮需
- 海外たばこ  
一時的な流通在庫充実
- その他  
大幅な不動産関連売却益

## 事業別実績 2017年1-3月

### 海外たばこ事業実績

## プライシング及びコスト削減効果により増益

(億本,百万US\$)

	2016年1-3月	2017年1-3月	増減率
総販売数量	944	917	-2.9%
GFB販売数量	664	660	-0.5%
<b>為替一定ベース</b>			
自社たばこ製品売上収益	2,468	2,469	+0.0%
調整後営業利益	863	875	+1.5%
<b>財務報告ベース</b>			
自社たばこ製品売上収益	2,468	2,429	-1.6%
調整後営業利益	863	810	-6.1%
<b>円ベース (億円)</b>			
自社たばこ製品売上収益	2,847	2,760	-3.1%
調整後営業利益	995	920	-7.6%

## クラスター別実績

	<u>2017年1-3月</u> 増減率
<b>South &amp; West Europe</b>	
総販売数量	-6.4%
GFB販売数量	-5.9%
自社たばこ製品売上収益（為替一定ベース）	-5.9%
<b>North &amp; Central Europe</b>	
総販売数量	-5.0%
GFB販売数量	-4.0%
自社たばこ製品売上収益（為替一定ベース）	-8.9%

### S&WE

- シェアは好調継続
- 流通在庫調整による相対減

### N&CE

- シェアは引き続き伸長
- UK：規制本格導入前の流動的な消費者動向

## クラスター別実績

	<u>2017年1-3月</u> 増減率
<b>CIS+</b>	
総販売数量	-6.7%
GFB販売数量	-6.2%
自社たばこ製品売上収益（為替一定ベース）	-6.2%
<b>Rest-of-the-World</b>	
総販売数量	3.4%
GFB販売数量	12.1%
自社たばこ製品売上収益（為替一定ベース）	12.9%

### CIS+

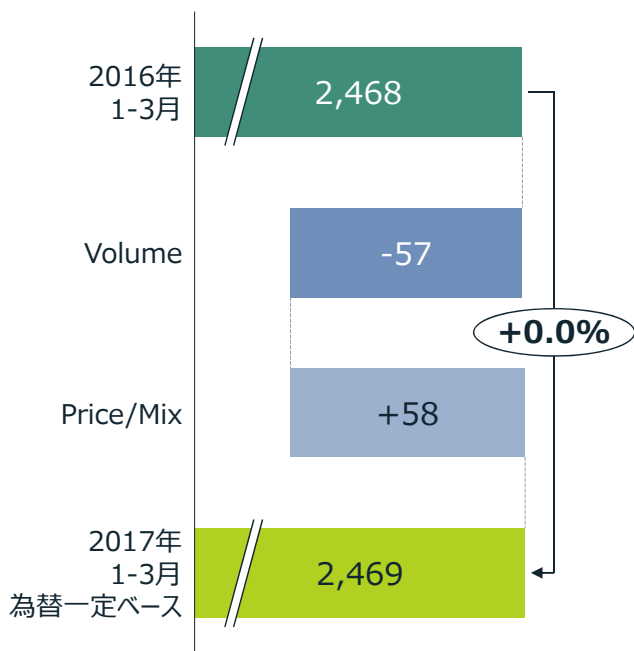
- 総需要減少の影響
- 低価格帯における価格競争の継続

### Rest-of-the-World

- 新興市場における数量成長とプライシング効果
- 力強いモメンタムにより、GFBは数量・シェアともに好調
- イランでの成長

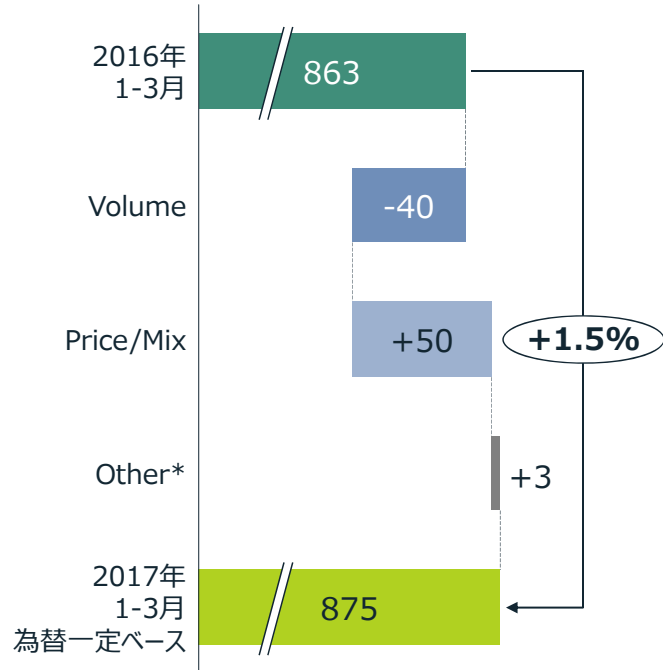
## 数量減影響、投資の増加はあるも、 プライシングと製造コスト削減により増益を確保

自社たばこ製品売上収益



調整後営業利益

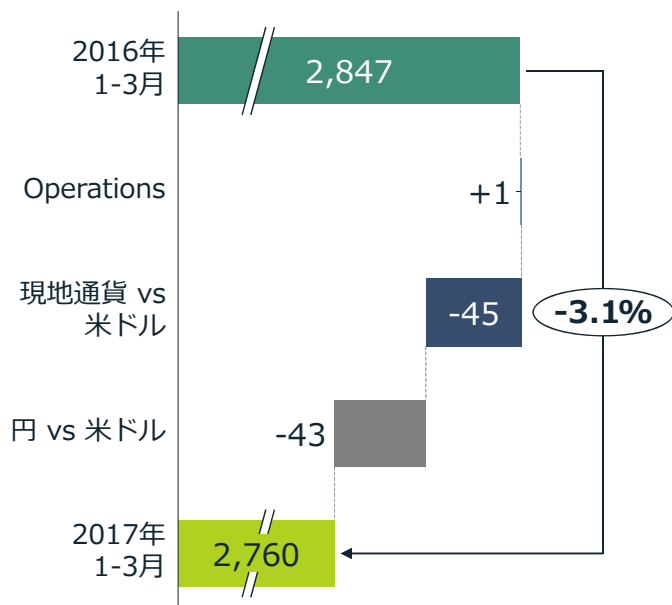
(百万US\$/為替一定)



\*製造コスト、販促投資、販管費等を含む

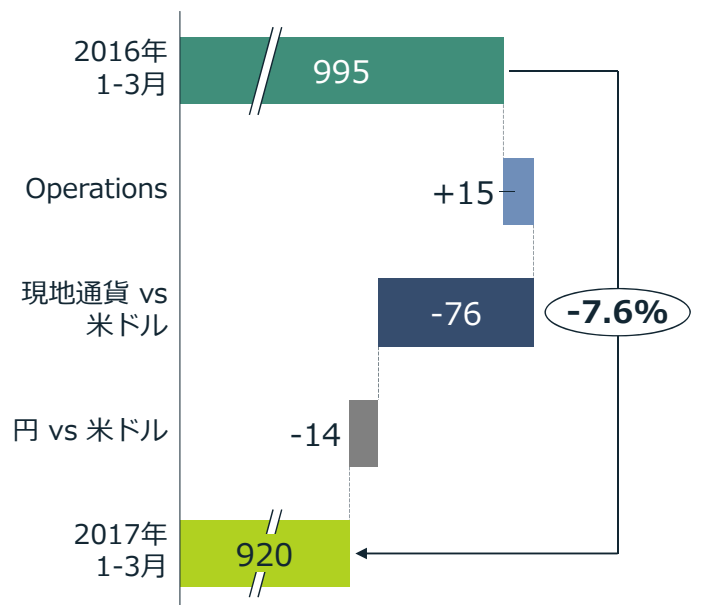
## ポンド安・円高等により為替はネガティブに作用

自社たばこ製品売上収益



調整後営業利益

(億円)



## 紙巻販売数量は想定通りの実績

(億本)

	2017年 1-3月	対前年同期 増減率
紙巻総需要	377	-13.3%
JT紙巻販売数量	230	-15.3%

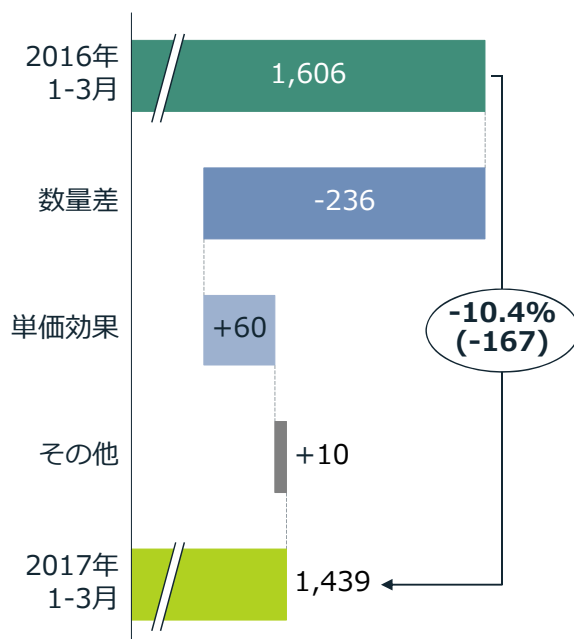
JTシェア 注カブランドシェア	2016年度 累計	2017年 1-3月	増減%pt
JTシェア	61.1%	61.0%	-0.1%pt
MEVIUS	31.4%	30.5%	-0.9%pt
Winston	8.0%	8.1%	+0.1%pt
Seven Stars	7.5%	7.5%	-0.0%pt
Natural American Spirit	1.5%	1.8%	+0.2%pt

### 数量減少の主な要因

- T-Vapor市場の拡大
- 昨年のMEVIUS仮需等の特殊要因も影響

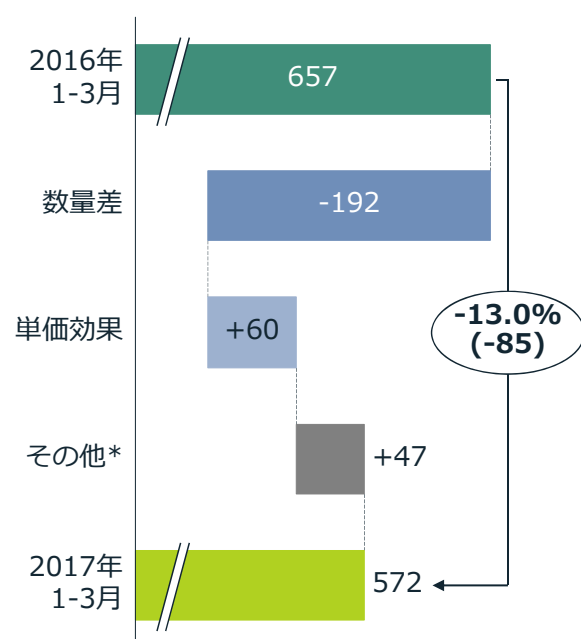
## 紙巻販売数量の減少により減収・減益も、投資水準の最適化は着実に実施

### 自社たばこ製品売上収益



### 調整後営業利益

(億円)



## 医薬・加工食品事業ともに堅調な実績

(億円)

	2016年 1-3月	2017年 1-3月	増減率
<b>医薬事業</b>			
売上収益	215	<b>232</b>	<b>+7.7%</b>
調整後営業利益	32	<b>51</b>	<b>+58.9%</b>
<b>加工食品事業</b>			
売上収益	394	<b>383</b>	<b>-2.9%</b>
調整後営業利益	12	<b>12</b>	<b>+0.7%</b>

(このスライドは空白です)



## 終わりに

### Closing Remarks

#### 通期目標の達成に自信

- 2017年度第1四半期は通期目標の達成に向け、順調にスタート
- 6月末よりPloom TECHの東京拡販を開始予定
- 厳しい事業環境の中でも、中長期の利益成長に向けた事業投資を着実に実施
- 中長期に亘るMid to high single-digitの利益成長を目指す

